

# ねくすと通信



左から…遠藤真理子、浅田琢哉、熊谷康信

## 『ねくすと Tome』からのご挨拶

令和3年5月1日に結成した新しい登米市議会の会派『ねくすと Tome』の代表となりました遠藤真理子(迫町)です！令和3年4月の市議会議員改選により、定数 26 名の議員の中に 7 名の新人が入りました。同一の理念を共有する、浅田琢哉議員(米山)、熊谷康信議員(南方)、そして私の3名で『ねくすと Tome』という名前の会派を立ち上げました。「ねくすと」は、次、これからのという意味があります。登米市の次世代を担うべく、市民の皆さまの声をしっかり聞き、市政に届けて参ります！

「3人寄れば文殊の知恵」ということわざがあります。平凡でも3人集まって相談すれば、思いがけないよい知恵が浮かんできます。私たちは、会派のミーティングを週1回のペースで行っています。(議会中は1時間早く集まっての

打ち合わせです)3人集まることで発想の質的転換があるなと感じております！

今後、各総合支所や各公民館、町の道の駅など、皆さまの見えるところでミーティングをしていきたいと考えております。(予告する予定でおります)見かけた際にはお気軽にお声がけ下さい。声をかけられたくてキョロキョロしているかも知れません(笑)

より良いまちにしていくためには、市民皆さまの協力がなにより大事、大切だと考えております。登米市は課題が山積しているといわれておりますが、1人ひとりの意識で解決していけると思います。『ねくすと Tome』を育てるつもりで今後ともどうぞよろしく願いいたします！

ねくすと通信

## 特別委員会等

**議会運営委員会** 浅田

議会が円滑に効率良く進むように、議事日程や運営などについて、協議や調整をします。  
・定期議会における議会運営の調整および検証

**議会改革推進会議** 熊谷

議会のあり方や諸課題について、協議や調整をします。  
・議会による事務事業評価について再検証

**広報広聴委員会** 遠藤、浅田、熊谷

議会だよりの作成や市民との意見交換会の企画とともに、フェイスブックによる情報共有、意見募集による政策提案につなげる取り組みなど開かれた議会を目指し活動します。

## 常任委員会

**総務企画常任委員会** 熊谷

市の総合計画や財政、税務、防災・消防、上下水道事業など、総務部、まちづくり推進部、消防本部および上下水道部の事務ほかを調査します。

**教育民生常任委員会** 遠藤

教育行政全般、福祉・保健・医療(病院)や環境・衛生など、教育委員会、市民生活部および医療局の事務を調査します。

**産業建設常任委員会** 浅田

農林水産業や商業・工業、建設、土木事業など、産業経済部、建設部および農業委員会の事務を調査します。

ねくすと通信

## 令和3年第2回定例会6月定期議会

### 市政運営の7つの軸について伺う

代表質問 浅田琢哉議員



### 本市の今後のSNS活用について

一般質問 遠藤真理子議員



### 基幹産業である農業の展望について 若者が定住できるまちづくりについて

一般質問 熊谷康信議員



問 近隣市町村でも活用している公式LINEアカウント（無料、通信バケツ料自己負担）を市ではどのように考えているか。ユーザーが年々増加している現状を鑑み、直接情報をお知らせできる公式LINEアカウントを開設を検討してほしい。

答 情報の発信力強化が求められている今日で市政情報や災害時における情報伝達手段の拡充のため公式LINEアカウントを開設する。

問 市民へのアンケートを実施する方法として「Google フォーム」を活用できないか。

答 Google フォームの活用可能な調査から順次導入していく。

（議会での意見募集も Google フォームを取り入れました。意見総数574件中）  
Google フォームを利用したの回答は236件集まりました。



「登米市公式LINEアカウント」CHECK!  
9月よりスタートしました!



## 令和3年第2回定例会9月定期議会

### 農業者の所得の安定化について 農業支援の充実化について 農業者育成シンクタンク活用について 農業振興の今後の取り組みについて インボイス制度における事業者支援策について

一般質問 熊谷康信議員



### 令和2年度 決算審査特別委員会

- 問 災害時応援協定を締結している79団体同士の横の連携が不十分ではないか。  
協定を結んでいる団体のそれぞれに協議会があり、連携はしっかり取れている。
- 問 米価下落における農業生産1日1億円の目標値を達成するための取り組みをどう考えているのか。  
答 米に依存した形では厳しい状況ですので、土地利用作物等々に変換し、農業の作付の構造を変え、情報共有を図りながら進める。
- 問 地産地消で学校給食への利用推進が現状14.86%とあるが、本市の農業体系を考えると、供給体制が整っている品目に関しては率先して使っていくことが望ましいと思うが。  
答 地産地消の取組みは、農協と連携をしながら進めている。25%の目標値を掲げているが、農協や給食センターの栄養士と連絡を取り、目標値に近づくような取組みを進めていく。

### 登米市立病院について

一般質問 遠藤真理子議員



問 広報のためのページを活用して地域医療情報を掲載してはどうか。

答 市民病院の情報発信として「登米市民病院だより」を定期的に発行しているが全戸配布ではないため、病院情報が市民に届ききっていない。広報紙への地域医療（市立病院）のコーナーをもうけ、情報を広く市民へ届ける。  
(令和3年度中)

問 農業経営支援事業10アール当たり2,000円の補助金について、今年はさらに米価が下がったことを受け経営支援をしっかりと行うべきと考えるが。

答 コロナ対策、緊急交付金を活用した事業であり、現在は様々な用途でコロナ対策の事業に使われている状況である。昨年のように同じような事業を組むというのは難しいものと考えている。ただ、米価下落対策、今後進めるに当たっては、そのような同様の事業はできないものの、その所得補償するような事業ではなく、経営体の育成であったり、高収益作物への転換などを重点に置き、農業経営の強化を目指すような取組みを進めていく。

登米市のメール配信サービス利用料の内訳を教えてください。

問 答 行政のほうでも多様な発信をすれば負担が少なくていいという部分があるので、そういった部分を見ながら、よりよい情報の発信に努めていきたい。

- 【内訳】
- ・メール配信サービス登録者数 (令和3年3月末現在) 11,710人
  - ・メール配信サービス利用料 1,399,200円 (年間)
  - ・カテゴリ追加業務委託費 159,500円 (年間)
- (管理者によるアクセス権の制限、メール配信希望者の登録の解除、利用カテゴリによる配信、ホームページとの連携機能、エラーメールのアドレスの自動削除)

※令和2年度決算に係る主要施策の成果説明書より引用

【補足】

- ・登米市の人口 76,479人 (令和3年9月末現在)



## 令和3年第2回定例会11月特別議会に提出された議案等の議決結果 議案第81号 令和3年度登米市一般会計補正予算(第8号)~一部抜粋~

### 主食用米生産緊急支援事業

#### 1 事業目的

新型コロナウイルス感染症の影響下で、外食産業の需要が大幅に落ち込んだことによる令和3年度米概算金の大幅な下落等により影響を受けた市内農業者に対し、緊急的に支援金を支給することにより次期作に向けた生産意欲の向上と経営継続を支援するもの

#### 2 事業概要

市内農業者(法人を含む)に対し、本年度の主食用米作付面積(生産の目安を超えた面積は除く)に応じて10アールあたり4千円の支援金を交付する。

##### (1) 対象者及び主食用米作付面積

- ①市内農業者(法人含む) 約6,500件  
※主食用米作付面積、生産の目安が10a未満の農業者は対象外とする。
- ②主食用米作付面積 約7,800ha

##### (2) 支給方法等

市農業再生協議会のデータを基に該当農業者へ申請書を郵送、支払いは口座振込とする。

#### 3 今回補正額

314,253,000円



### 新型コロナウイルスワクチン追加接種(3回目)について

【対象者】新型コロナウイルスワクチン2回目接種完了から原則8ヶ月以上を経過した18歳以上の方

【登米市での接種体制について】

- 集団接種と医療機関での個別接種を併用し、対象者が接種しやすい環境を整備します。
- 予約方法については、集団接種会場と日程・時間をハガキで通知し、予約不要により予約における負担を軽減します。
- 予約変更・相談はコールセンターを設置し、市民の皆様が安心して接種の予約や相談ができる環境を整備します。

#### 【注意事項】

- 今回送付した「接種券一体型予約票」とは別に後日、集団接種会場と日程・時間をハガキで通知します。接種券が届いてすぐに接種できるわけではありません。医療機関に直接予約や連絡をしないようお願いします。
- インフルエンザワクチンなど他の予防接種を受ける場合は2週間以上間隔を空けてください。

### ★登米市ワクチン接種コールセンター

TEL0120-567-257(フリーダイヤル) ●平日(土・日・祝日を除く)  
●午前9時から午後6時まで

